

# オレンジカフェを通じた 多職種連携支援の取組み



大分県中津市  
中津市地域包括支援センターいずみの園  
認知症地域支援推進員 川上 央実



# 大分県中津市の概要

H29.4.1現在

総人口	84,539人	65歳以上人口	24,424人
高齢化率	29%	第6期介護保険費	月額 5,000円
要介護認定者数	4,364人	要介護認定率	17.9%
日常生活圏域数	2	包括数	委託のみ：5
面積	491.1km <sup>2</sup>	主要産業	(株) ダイハツ九州等

認知症地域支援推進員数：2名（委託：2名）

地域の特徴：平成18年の市町村合併により、旧中津と郡部4村（三光、本耶馬溪、耶馬溪、山国）が合併して、現在の中津市となっている。大分県北部に位置し、福岡県の県境にある。各地区の高齢化率について、旧市内26.5%、三光地区33.2%、本耶馬溪地区43.4%、耶馬溪地区45.7%、山国地区48.7%。



福沢 諭吉の郷



社会福祉法人  
九州キリスト教社会福祉事業団

愛と奉仕



since 1978

私を与える水は、その人のうちでいずみとなり、  
永遠の命に至る水がわき出る。

ヨハネによる福音書 4. 2-14

それゆえ、**信仰**と、  
**希望**と、**愛**、  
この三つはいつまでも  
残る。  
その中で最も  
大いなるものは、  
**愛**である

聖書:コリントの信徒への  
手紙 I 13:13

# 中津市の認知症支援に関する取組み

## 目標

認知症があっても安心して暮らせるまち中津に向けて

### 普及・啓発の推進

講認知症サポーター  
養成講座

多世代への認知症  
理解を深めるコラ  
ボ企画

認知症ケアパスの普  
及・啓発

### 地域の見守り体制の推進

徘徊高齢者等  
SOSネットワーク  
事業の推進

高齢者徘徊模擬訓練  
の普及

孤立ゼロ訪問事業

### 早期・発見早期対応

もの忘れ対応支援  
チーム(認知症初期  
集中支援チーム)

### 介護者ケアの充実

認知症家族支援  
プログラム

### 認知症連携支援

(認知症地域支援推進員)

オレンジカフェ  
(認知症カフェ)

高齢者徘徊模擬訓練の  
実施

認知症コーディネー  
ター養成研修

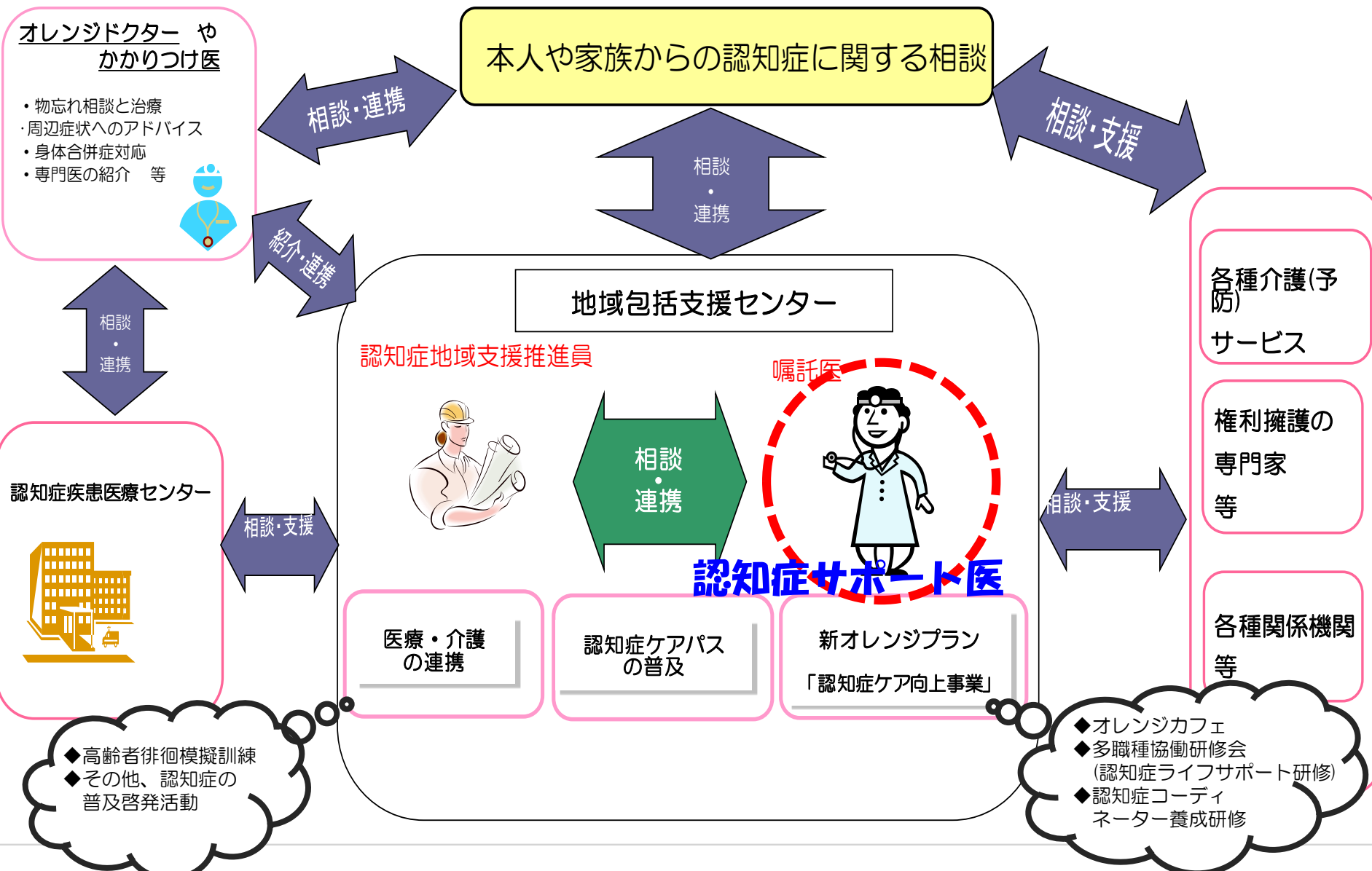
認知症多職種協働研  
修会の実施

講演会、研修会など

中津市認知症ネットワーク研究会

# 認知症地域支援推進員の活動について

## 市町村認知症施策総合推進事業



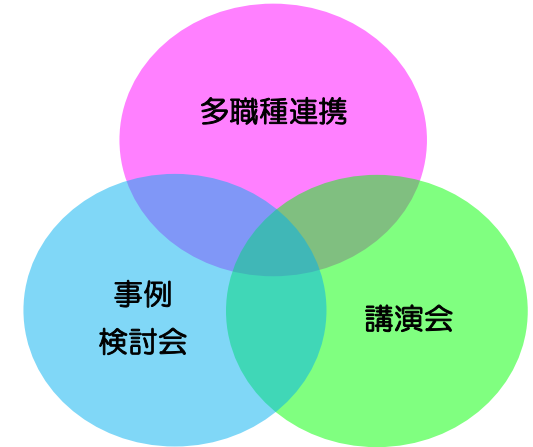
# 中津市認知症ネットワーク研究会

## ○設立の経緯

平成23年、認知症対策が急務となることを考え、医師会、介護事業所が顔の見える関係を構築する必要があるということで、有志が集まり「中津市認知症ネットワーク研究会」が設立。

## ○中津市認知症ネットワーク研究会の設立の趣旨と事業

- 1・ かかりつけ医と専門医療機関の連携
- 2・ 認知症を正しく理解する
- 3・ 医療と介護と行政の顔の見えるネットワークづくり



当該ネットワークの立ち上げにより、認知症ケアの考え方、医療と介護の顔の見える関係が少しずつ成熟し、現在の認知症施策の事業が円滑に進んでいる。

## ○主なメンバー 代表者：末廣 朋未 先生（中津市医師会 会長）

認知症サポート医、大分オレンジドクター等医師、地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所職員、看護師、市職員等々（20名）

## ○活動

事例検討会の開催、講演会等

その他、オレンジカフェや多職種協働研修会等さまざまな認知症事業にもご尽力をいただいている。

# 平成25年度 「認知症ケアパス作成のための 市民ニーズ調査」より分かったこと

- 自分や家族について、将来的な認知症に対する「不安がある」回答が約半数。認知症の早期発見・治療が必要。
- 自分が「認知症かな？」と思ったときに、同居・別居の家族に相談する以外の相談先については、よく分からない回答者が多い。
- 「認知症になったら医師に相談したい回答者」は多いが、オレンジドクター制度を知らない。かかりつけ医との連携とともに相談先の周知も必要。
- 市内全域にて、「学校、職場や地域での認知症に関する学習会の開催」の機会あることを知らない。
- 認知症治療、認知症予防などの関心は高い。

など

# 「地域」づくりと「人」づくりを 中心とした**認知症連携支援**

地域にある社会資源を知り、活かす方法を考える。



認知症の人を支える世代をターゲットにした取り組み  
を企画・調整・実施。



認知症の人や家族、地域住民、専門職（医療・  
介護）のお互いが学ぶ機会や場と仲間が必要。







# 認知症サポーター養成講座のようす

市内小学校にて、小学生及び保護者への講座



# 中津市の高齢者徘徊模擬訓練

## 2016 如水高齢者徘徊模擬訓練

平成28年

日時

12月4日(日)

9:45~12:00



集合場所

上如水団地集会所  
如水コミュニティセンター

※当日、上記どちらかの集合場所に9:30までにお集まりください。

### 徘徊模擬訓練の目的

徘徊模擬訓練は、市内の認知症の人が行方不明になったことを想定して、地域のネットワークを活用して、「通報～連絡～捜索～発見・保護」の情報伝達の流れと認知症を正しく理解し、本人の気持ちに配慮して声かけや見守りなどを訓練することです。

※ひとりひとりが認知症の人への対応の仕方を知って、認知症があっても安心して暮らせるまち“中津”のまちづくりを目指して、皆さんもご参加ください!!

認知症の人への  
対応心得3つの「ない」  
驚かせない  
急がせない  
自尊心を傷つけない

「あれ? あの人の...」と思う人がいた時の声かけポイント!!

ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから、話かけましょう。急に後ろから声をかけたり、大声で話しかけないよう配慮してください。「こんにちは」、「お暑いですね」など、ごく普通のあいさつから、やさしく声をかけてみてください。

例えば…「どちらまで?」、「何かお困りですか?」、「ひと休みされませんか?」、「何かお手伝いしましょうか?」など

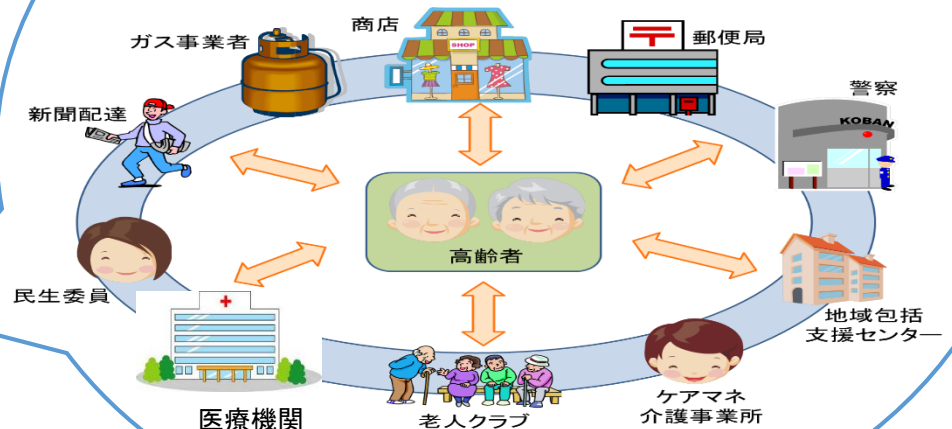


この訓練をはじめたきっかけと継続できている理由について

自治会長の言葉

「この訓練を行うことは、防犯、防災、子どもの見守りの活用できる」

## 目的は“地域づくり”



【徘徊模擬訓練に関するお問合せ先】

中津市役所 介護長寿課 高齢者福祉係 ☎22-1111 (内線736)

中津市高齢者相談支援センター いずみの園 ☎62-9000

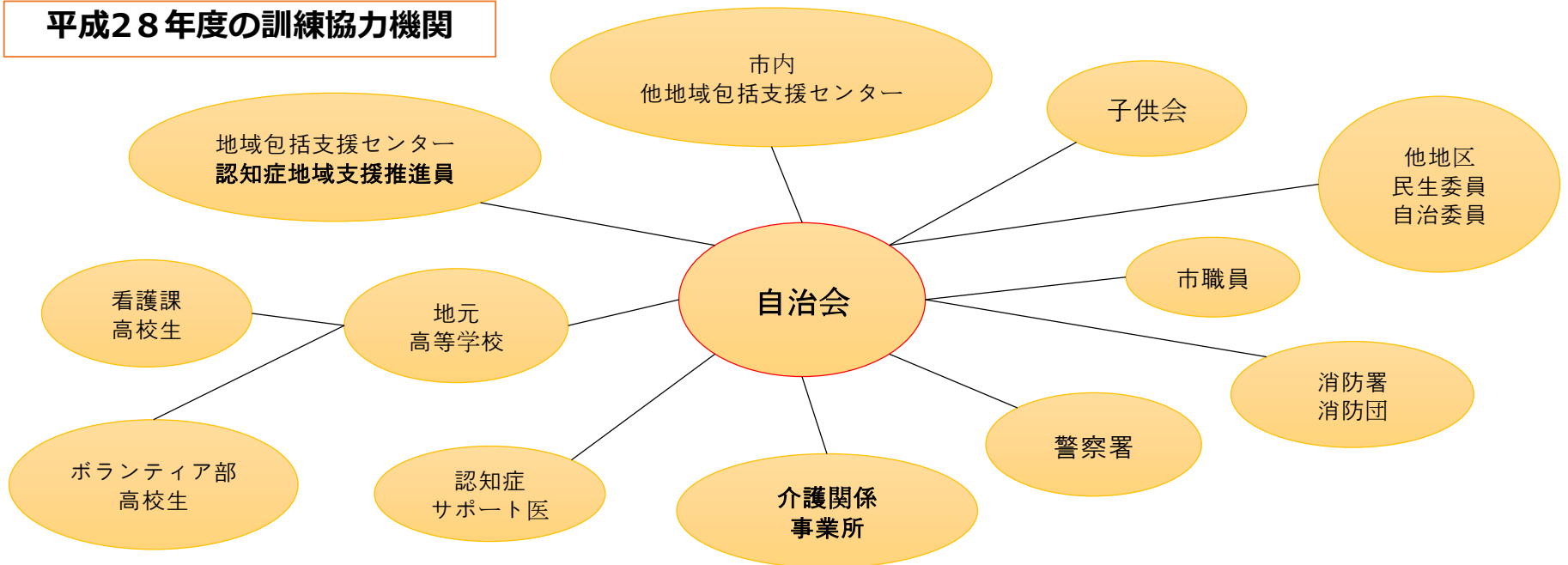
# 中津市の高齢者徘徊模擬訓練

平成21年9月 福岡県大牟田市の徘徊模擬訓練へ（2回の視察）

平成24年3月 大分県で初めての高齢者徘徊模擬訓練を実施。（中津・上如水地区周辺）  
その後、毎年開催。

平成28年12月 現在、市内2ヶ所の訓練を実施。

## 平成28年度の訓練協力機関



- ※平成27年10月
- ・『中津市徘徊高齢者等SOSネットワーク事業』が開始。  
⇒中津市、中津警察署、中津消防署及び消防団が協定締結。
  - ・中津市と市内金融機関との連携事業が開始。  
⇒中津市版まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく金融機関との連携。

例) 高齢者の見守り支援等

# 地元高校生とのコラボ企画と実施

## 認知症予防の食事について知ろう！ ～in ハピスマ食堂～

もの忘れのことについて、おいしいご飯を食べながらお話しませんか？

どなたでもご来店できます★  
ハピスマランチ食べに来ませんか？

内容

中津東高等学校マーケティング部による  
「ハピスマランチ～認知症予防の食事～」  
の提供と献立の説明

認知症地域支援推進員による  
認知症の相談コーナー  
認知症についてのお話(15分程度)  
(11:30～、12:30～、13:30～)

中津東高校  
マーケ  
ティング部



中津市役所  
介護長寿課



ハピスマ食堂特別編ということで、  
認知症予防の食事を作ります！

お1人様 500円

ハピスマランチ※食数に限りあり※  
売り切れ後も14時まで開店しますので、認知症に関  
する相談など興味のある方は是非お越しください！

場所  
日時

平成28年 6月19日(日)

時間：11:00～14:00頃  
※売り切れ後も、14時まで開店します。  
場所：南部まちなみ交流館  
(中津市1828番地)  
電話：0979-23-6070  
駐車場：地図参照



※当日は、丸善かまぼこさん隣の  
村上記念病院駐車場をご利用ください。

## 企画の話合いでは・・・

「認知症」って聞くと、暗い  
イメージがあるらしい。

行政担当者

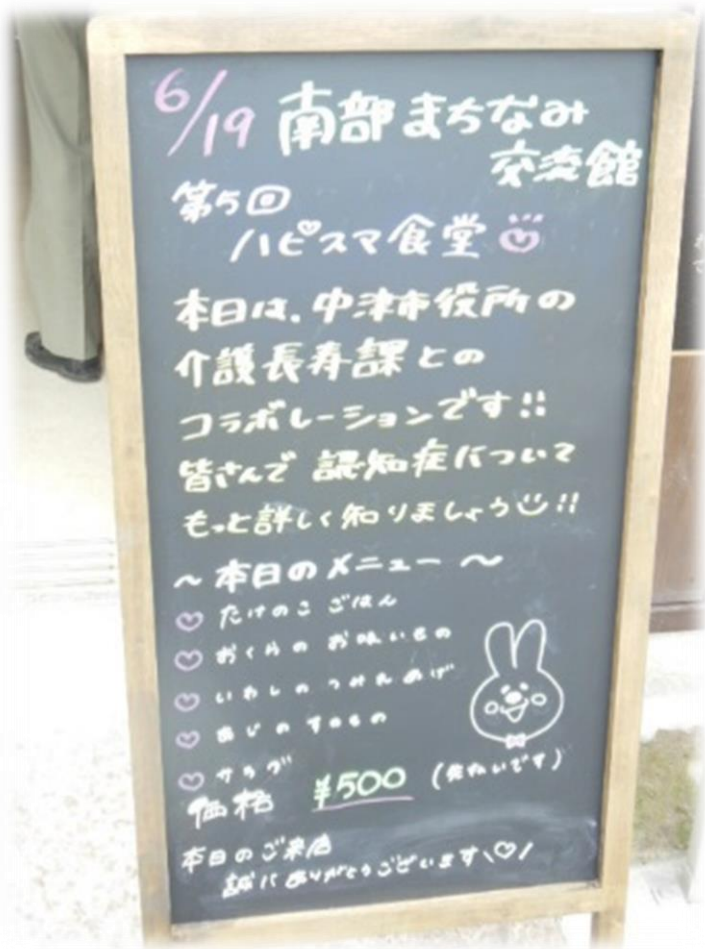
認知症地域支援  
推進員

老人サロンでは、認知症予防  
への関心はすごく高い！！

地域社会の重要な課題に関心  
を持ってもらいたい！  
福祉マインドの醸成の機会と  
して呼びかけてみては？

# ハピスマ食堂のようす

- ①認知症について（認知症地域支援推進員より）
- ②認知症の予防に良いと言われる食材を使ったメニューの紹介を行う（マーケティング部高校生より）



# 中津市認知症コーディネーター養成研修

平成28年度 35名が受講修了





平成28年度に実施した中津市認知症コーディネーター養成研修事業の研修の修了生を2班に分けて活動発表していただく機会を持ちます。平成29年度受講応募者（希望者）、活動に興味のある方、是非お越しください！



## 平成28年度 中津市認知症コーディネーター 活動報告会

### 日時

- 1班：平成29年8月8日（火）  
18時50分～20時30分（100分）
- 2班：平成29年11月14日（火）  
18時50分～20時30分（100分）

### 会場

中津市役所 3階大会議室  
※市役所駐車場は、17時30分以降はサンリブ側より、お入りください。

### 参加無料

※発表者及び報告会参加希望者は、事前に申込みをお願いします。

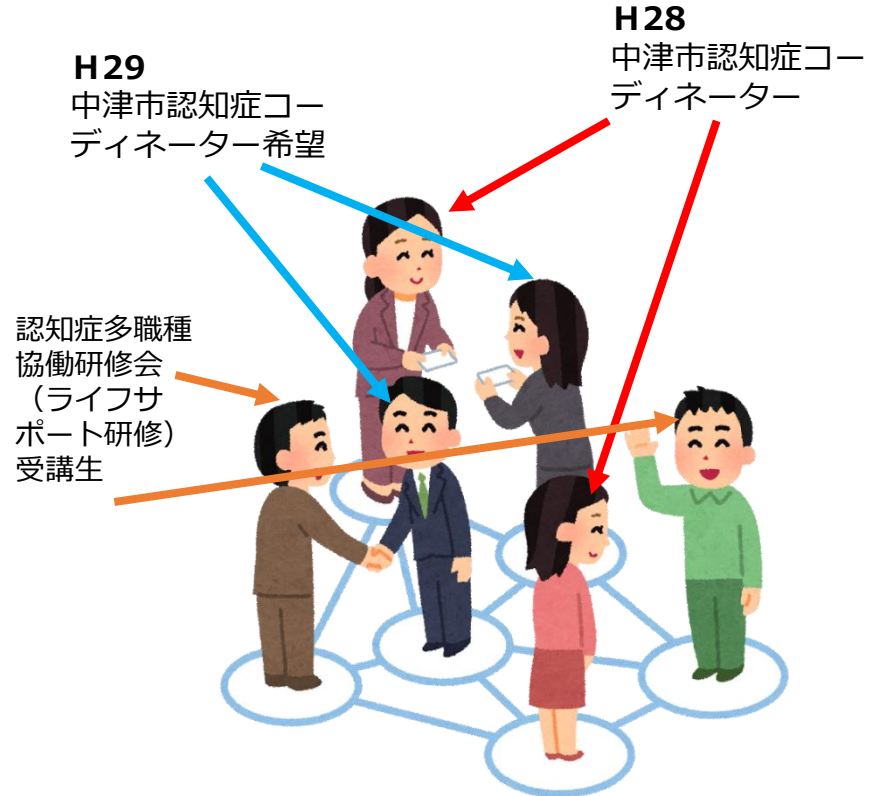
問合せ 中津市地域包括支援センターいずみの園（担当：坂田・川上）

電話 0979-62-9000

FAX 0979-23-7921

平成28年度修了生の  
フォロー研修の機会として  
実施予定。

⇒専門職同士が理解を  
深めることのできる場  
として。





# 認知症カフェについて

「認知症の人と家族、地域住民、専門職の  
誰もが参加でき集う場」

**本人支援**：早期診断・早期介入、本人の自信を取り戻せる  
機会として

**介護家族**：介護知識の習得・介護相談等

**地域住民**：認知症の知識の普及啓発

**専門職**：スキルアップや支援者同士のネットワークづくり

# 認知症カフェについて

中津市では、  
認知症カフェを  
『オレンジカフェ』  
と呼んでいます

# オレンジカフェでの目的

認知症の人の生活を途切れさせない  
(介護と医療の連携)

⇒ 「認知症の入り口問題」

への介入や解決

「在宅でいまの  
生活を続けたい」…



# オレンジカフェの機能

- ① 個別の相談支援（本人・家族）  
⇒ 医療や介護のアクセスなど
- ② 生きがい支援（本人）
- ③ 家族同士の相談の場（ピアサポート）
- ④ 地域住民の集まる場（限界集落）
- ⑤ 共生社会（子どもと高齢者の交流）



# オレンジカフェのスタッフ

市役所の職員

デイサービス(生活相談員)

ケアマネジャー

有料老人ホームの介護職員

福祉用具専門相談員

認知症サポーター養成講座の  
受講生

医師



オレンジカフェ

地域包括支援センター職員

社会福祉士

看護師

認知症地域支援推進員

グループホームの介護職員  
キッズスタッフ

# カフェをはじめる準備

## 事前準備

- ・ 医師との開催日程調整
- ・ 参加者（お客さん）への連絡調整
- ・ 取り組む内容についての打ち合わせ
- ・ 情報のアセスメント（情報シートの作成）
- ・ カフェスタッフ集め
- ・ 行事保険 など

## 当日

- ・ 会場設営、カフェ物品の搬入
- ・ ミーティングの司会進行
- ・ カフェ開店中の運営
- ・ 個人情報の管理
- ・ 課題解決の方法の検討 など

## 閉店後

- ・ 情報集約、情報提供（主治医、担当ケアマネ、包括）
- ・ 後日、電話や個別訪問を行い、経過確認

推進員

# オレンジカフェなかつ (ふるかわメディカルクリニック 待合室)



# コーヒーを飲みながら各々での会話を





# オレンジカフェつきのみき (中津市槻木交流センター)



# カフェスタッフのミーティング

Aさんの奥さんは、介護のストレスがたまっていそう。

最期まで自分が夫を看取りたいという思いで介護している。

Cさんは「私は自分は何もできない」と言っていた。

Aさんは生まれの話をしている際はとてもいい表情だった。

介護保険のサービス、もの忘れ外来について紹介した。

# カフェ参加者の変化

## ■本人

- ・ 回を重ねるごとの表情。
- ・ 自分の力を発揮、自信を取り戻す。

## ■家族

- ・ 安心して話ができる場所。
- ・ 共感しあえる仲間。
- ・ 認知症のいろいろな症状、治療や薬のこと。

## ■支援者

- ・ カフェを通じて参加者の表情、言動の変化を共有できる。
- ・ 多職種の視点、関わり方への理解。

# カフェを通じてわかってきたこと・課題

## わかってきたこと

- 「医師からの助言」は、本人や家族だけでなく、カフェスタッフが学びを深められる
- 各カフェでは、参加者によっていろいろな過ごし方を選択できる。
- 困っていることの全てを解決する場所ではなく、必要なところや人につなげる。

# カフェを通じてわかってきたこと・課題

## 課題

- **誰でもが気軽な参加**  
⇒来店のサポート、アクセスなど
- **認知症の知識や生活支援に必要な社会資源**  
⇒ニーズに応じて対応できるスタッフの育成
- **ボランティアを集める(専門職に加えて…)**  
⇒認知症サポーターの事業との連動も

# オレンジカフェで目指すもの

本人や家族への  
認知症の理解や支援  
重視

認知症カフェの機会

医療・介護

認知症の人  
家族

地域

行政

認知症の社会的認知と  
差別偏見の予防重視

近所（市民）レベルでの  
認知症の理解と支援重視

自治体（市町）レベル  
での認知症の理解と支援重視

# 中津市オレンジカフェ開設状況

現在8ヶ所！！

平成26年1月 京都・今出川「オレンジカフェ今出川」研修へ。

平成26年11月 『オレンジカフェフォーラムinなかつ』開催。

同志社大学 教授山田先生、コーディネーター青木氏より「オレンジカフェ今出川」での実践について  
基調講演いただく。大分県内の実践事例発表（由布市・中津市）

## ④『オレンジカフェやまうつり』

平成26年5月 開設  
持田公民館、やすらぎ荘ダイルーム



## ②『オレンジカフェつきのき』

平成26年3月 開設  
中津市槻木交流センター



## ⑤『オレンジカフェやまくに』

平成26年7月 開設  
守実公民館



## ③『オレンジカフェ上東西』

平成26年3月 開設  
社協本耶馬溪総合福祉センター

## ⑥『洞門オレンジカフェ』

平成27年4月 開設  
本耶馬溪支所内保健センター



## ①『オレンジカフェなかつ』

平成26年2月 開設  
ふるかわメディカルクリニック 待合室



## ⑧『オレンジカフェむらかみ』

平成28年1月 開設  
村上記念病院  
デイケアホール



## ⑦『オレンジカフェ三光』

平成26年12月 開設  
三光福祉保健センター



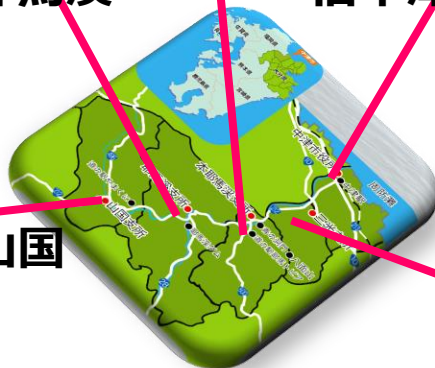
本耶馬溪

耶馬溪

旧中津

山国

三光



# 中津市の推進員活動を通じてわかったこと

## 強み

社会福祉法人への委託＋専任だからできたこと  
⇒柔軟に活動ができる

- 事業メニューの実施の達成
- 行政の協力・理解がある



# 中津市の推進員活動を通じてわかったこと

## 弱み

## 「共に動く人材・チーム・拠点」を 育てる推進の核づくり

- 中津市だけでの完結は難しいケースが多い
- 情報共有や伝達のツールの活用

# 活動を通じての課題

- 地域課題の解決（医療と推進員の連携）
- 認知症地域支援推進員の質の向上
- 「認知症の人が安心して暮らせる地域づくり」  
P D C A サイクルと評価。
- 本人や家族の等の意見の反映

# 取組みで大切にしてきたこと

- 行政や嘱託医との協働
- フットワークと柔軟性
- 自分自身が中津市民として「将来のために」を考え、事業にかかわること
- 地域づくりを

**あきらめないこと + 楽しむこと**

# 大分県認知症施策プロデュース委員会

民間企業、マスコミ、警察、教育、医療、介護、行政そして家族と知恵を出し合って検討しています



介護

教育



当事者・  
家族



地域

行政



警察

医療  
看護

ご清聴いただきありがとうございました。

